

授業科目	女性とマナー				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	CH10303J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	池田 佐輪子							
授業概要	<p>職場だけでなく地域社会で生活する上で必要なマナーについて学ぶことがこの授業の目的である。授業内容としては、コミュニケーションや人材コンサルティングを専門としている外部講師を招き、ロールプレイやディスカッションを取り入れたアクティブラーニングを展開する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. マナーの根底にある他者への配慮を意識し、他者の思いを共感的に理解する態度をもつ 2. 保育の現場や企業だけでなく地域社会の中で生活するために必要なマナーを身につけている 3. さまざまな文化に即したマナーがあることを理解し、それを学ぶ意欲をもつ 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	60	30	0	10	100	
知識・理解 (DP1-1)			60	30		10	100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> ・マナーの根底にある他者への配慮を意識し、他者の思いを共感的に理解する態度をもつ ・保育の現場や企業だけでなく地域社会の中で生活するために必要なマナーを身につけている ・さまざまな文化に即したマナーがあることを理解し、それを学ぶ意欲をもつ 				<ul style="list-style-type: none"> ・マナーの根底に他者への配慮があることを理解する ・保育の現場や企業だけでなく地域社会の中で生活するために必要なマナーを知る ・さまざまな文化に即したマナーを学ぶ意欲をもつ 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:オリエンテーション・マナーとは 授業のオリエンテーションとマナーについての概説をおこなう	講義	復習:授業内容のふりかえり	15
2	基本的なマナー 身だしなみ、基本姿勢、お辞儀、挨拶、敬語について学ぶ	講義・演習 外部講師	復習:授業内容のふりかえり	15
3	手紙の書き方 フォーマルな手紙の書き方について、ビジネスマナーと日常のマナーの両方を学ぶ	講義・演習 内部講師	復習:授業内容のふりかえり	15
4	伝達ツールのマナー 電話のかけ方やメールの送り方について、SNSとの違いを意識しながら実践的に練習をする	講義・演習 内部講師	復習:授業内容のふりかえり	15
5	PDC サイクルと報告・連絡・相談 PDC サイクルと、報告・連絡・相談の重要性を理解し、それぞれのマナーを学ぶ	講義・演習 外部講師	復習:授業内容のふりかえり	15
6	来客対応と訪問時の対応 職場での来客対応のマナーと、職場訪問時の対応について学ぶ	講義・演習 外部講師	復習:授業内容のふりかえり	15
7	お茶出しのマナー 来客時のお茶の準備からお茶を出すまでのマナーを学ぶ	講義・演習 外部講師	復習:授業内容のふりかえり	15
8	まとめ ここまでの授業内容をまとめる	講義	予習:これまでの授業をふりかえりレポートを書く準備をする	60
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	自分の普段の立ち居振る舞いについてふりかえる。			
テキスト	長島和代編 2021 改訂 2 版 保育のマナーと言葉 わかば社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で適宜紹介する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で学んだことは、生活のなかで積極的に実践してください。理解するだけでなく実践することによってスキルが身に付いていきます。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	達成度の評価は、レポート 60%、発表(授業の中での実技をふくむ)30%、その他(ディスカッションへの積極的参加など授業貢献度)10%で評価します。 課題に対するフィードバックは授業の中でおこないます。			

